



三菱(業務用)ロスナイ

天井カセット形マイコンタイプ(フリープラン対応形)

形名	〈100V〉		〈単相200V〉	
	LGH-N15CX3 LGH-N25CX3	LGH-N35CX3 LGH-N50CX3	LGH-N15CX3D LGH-N25CX3D	LGH-N35CX3D LGH-N50CX3D

据付工事説明書

販売店・工事店様用

据付工事を始める前に、この据付工事説明書をよくお読みください。

据付工事は、必ず専門の工事店にて実施してください。間違った工事は、故障や事故の原因になります。お客様自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません)

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。据付工事が終わりましたらこの説明書および「据付工事説明書 別冊」とともに、お客様に必ずお渡しください。別冊の取扱説明書に従って、正しい使いかたをご説明ください。

- この製品には別売のリモコン他、システム部材が必要です。カタログ等により別途ご用意ください。
- ジーンアスリモコン以外のリモコンを使用した場合、ご使用できない機能があります。

もくじ	ページ
据付けの前に	
安全のために必ず守ること	1
外形寸法図と各部のなまえ	1
標準据付例	1
据付工事	
本体の据付け	1~2
電気工事	1~4
機能設定	4
据付工事後の確認	4
試運転	
試運転	4
パネルの取付け	4
お客様への説明	
	4

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、軽傷または建物・機械などの物的損害に結びつくもの

■「図記号」の意味は次のとおりです。

- 禁止
- 浴室据付禁止
- 分解禁止
- 指示に従い必ず行う
- アース線を必ず接続せよ

警告

<p>禁止</p> <p>高温 (40℃以上) や直接炎があたり、油煙の多い場所には据付けない 火災の原因</p> <p>有害ガス・腐食性成分 (*) を含んだガスが発生する場所には据付けない 絶縁劣化による漏電火災や故障の原因 (*) 機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など</p> <p>電気・電子機器等濡れて困るものの上には据付けない 漏電火災や故障の原因</p> <p>分解禁止</p> <p>改造や必要以上の分解をしない 火災・感電・けがの原因</p> <p>浴室据付禁止</p> <p>浴室など湿気の高い場所には、本体・リモコンとも据付けない 感電および故障の原因</p> <p>アース線を必ず接続せよ</p> <p>単相 200V 製品はアース (D 種) を確実に取付ける アースを取付けず、故障や漏電のときに感電の原因</p> <p>指示に従い必ず行う</p> <p>定格電圧、制御容量範囲内で使用する 間違った電源で使用すると、火災や感電の原因</p> <p>外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選び新鮮な空気が入ると、酸欠状態になるおそれがあります</p> <p>電気工事の際は、必ず分電盤のブレーカーを切る感電やけがの原因</p>	<p>本体の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によりけがの原因</p> <p>端子台接続部は、指定の電線を使用し、抜けないように確実に接続する。 端子台の 1 か所に 2 本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する 接続に不備があると火災の原因</p> <p>電気工事は、電気工事士の有資格者が規定基準 (*) や据付工事説明書に従い据付ける。また、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する (*) 「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」電源回路容量不足や取付け不備があると感電、火災の原因</p> <p>漏電保護用に電源側へ漏電ブレーカーを使用する 漏電した場合火災の原因</p> <p>金属製ダクトがメタルラス・ワイヤラス・ステンレス板などの金属と、接触しないように取付ける 接触して取付けると、漏電した場合火災の原因</p> <p>本体より室外側ダクトは室外に向かって下りごう配 (1/30 以上) になるよう据付ける。 また、断熱処理を確実にを行う 雨水の浸入による漏電・火災や建物・機械などの損傷の原因</p> <p>コントロールカーは施工後、必ず開める ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因</p> <p>据付け後長期ご使用にならない場合は、必ず分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因</p>
---	--

注意

- 指示に従い必ず行う** 吊りボルト・ナット・ワッシャーは必ず指定のものを使用する
指定以外のものを使用すると、落下の原因
- 指示に従い必ず行う** 据付けの際は手袋を着用する
着用手袋しないとけがの原因
- 指示に従い必ず行う** 開梱後はすみやかに付属部品のダクト接続フランジを取付ける
取付け前に開口部へ手をかけたりすると、けがの原因。

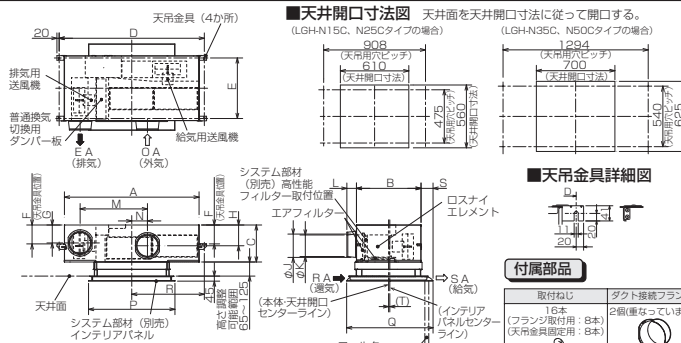
お願い

- 霧・もや・高湿度な空気を吸い込むと、フィルター、ロスナイエレメントから水滴が垂れ、機外に水が漏れることがあります。このような場合は、運転モードの切換えをしてください。(高湿度空気を吸い込む場合は、換気モードをロスナイ換気運転にしてください。濃霧や強風などで雨水が浸入するおそれがある場合は、運転を停止してください)
- 過水プール、浴槽、お風呂場、浴室等の高湿度多湿 (30℃以上、相対湿度 90%以上) の場所になる地域や霧の多発地帯* で使用する場合、エアフィルターやロスナイエレメント内部に結露が生じてドレンが発生することがあります。このような条件下においては業務用ロスナイは使用できませんので、耐湿型ロスナイをご使用ください。
- 霧の多発地域
 - 概程 50m~200m の濃い霧が 3 時間以上/日 発生する地域
 - 山間部、湖、海岸など霧・もや・高湿度な空気発生のある地域
 - 1 か月に複数回、1 晩以上霧が継続して発生する地域 (右表上記にあてはまる地域を気象庁「気象統計情報」より抽出したものです。右表以外の地域でも上記にあてはまる地域は霧多発地域となります) (霧・もや：境界範囲が 10km 以下となる高湿度状況)

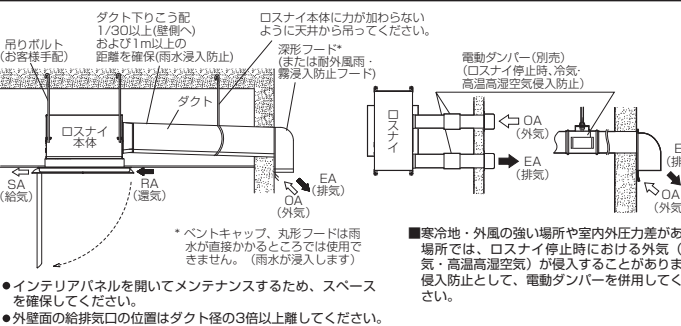
都道府県名	地名
北海道	稚内、北見枝幸、釧路、雄武、紋別、網走、寿都、江差、苫小牧、室蘭、浦河、帯広、根室
青森	八戸
岩手	宮古
宮城	石巻
福島	小浜浜
栃木	奥日光
千葉	鏡子、龍山
静岡	石廊崎、御前崎
長野	軽井沢
高知	室戸岬
長崎	平戸、雲仙岳
熊本	阿蘇山

- 建物が負圧になる設置環境では、運転停止時や間欠運転時に霧・もや・高湿度空気が室内に侵入することがありますので、電動ダンパーを併用してください。寒冷地・外風の強い場所や建物内に負圧になる設置環境の場合は、運転停止時に室内の外気と外気との温度差により、冷気・外風等が入りやすくなります。侵入防止としてOA (外気) 側およびEA (排気) 側に当社推奨の電動ダンパー (AT-100・150・200DE (株式会社メルコエテック製)) を併用してください。設置する温度に合わせて、電動ダンパーの開閉と送風機の運転を連動させることができます。
- 別売システム部材 (耐外風雨・霧浸入防止フード) と組み合わせるとご使用をご確認ください。なお、製品内に水が溜まっている場合は、水滴を拭き取る等の清掃を行い、ご使用ください。
- 寒冷地などでは使用条件範囲内で使用する場合でも、外気条件と天井裏湿度条件によって、本体表面およびダクト接続部が結露、結氷するおそれがあります。このような条件下で使用される場合は断熱材を裏面の追加工事を実施してください。別売の「寒冷地設置用断熱材」(受注対応品) を準備してください。
- (寒冷地設置用断熱材の各種サイズへの取付おおよそはお客様にて実施となります)
※結露条件例 外気: 0℃以下、設置場所最高温度: 10℃以上 (天井裏温度 22℃以上で相対湿度 50%以上のおきなど)
- 電気・電子機器が濡れて困るものの上に製品を設置しないでください。外気や設置場所の湿度条件により水滴が落ちて、破損や汚損につながる場合があります。
- 雨水浸入防止対策を施してください。(標準据付例の雨水浸入防止をご参照ください)
- 天井材は共振しにくい材質をご使用ください。
- 給気・排気が混ざらない配管工事を行ってください。
- 一般的に、室外建物などで給気側外フード近くに窓面などがあり、照明光に虫が集まりやすい環境下においては、給気側外フードから室内に侵入した虫が、室内に侵入する場合があります。食品工場や病院などの衛生環境でこのような環境にあり、虫侵入を防止する対応としては、別売のシステム部材「虫侵入防止ユニット」をご使用ください。(本体への設置は工事店にて実施となります)
- 室外側のOA (外気) ダクトに過大な圧力損失がかかることとRA (送気) 側からSA (給気) 側への空気漏れが増加する傾向があります。OA側に過大な圧力損失がかからないように施工してください。
- 火災報知器は感知部がインテリアパネルの給気口から 1.5m 以上離れたところに取付けてください。
- スプリングラバーヘッドはインテリアパネルから 30cm 以上離れたところに取付けてください。
- 風量調節ダンパーを使用する場合、OA (外気) 側とEA (排気) 側に極端にアンバランスに設定しないでください。
- 外壁面の給排気口の位置はダクト径の 3 倍以上離してください。
- 製品運搬時・保管時には製品を縦置きしないでください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(風重低下や異常音発生の原因になります)

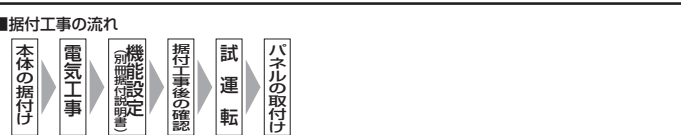
外形寸法図と各部のなまえ



標準据付例



本体の据付け



●システム部材(別売)インテリアパネル(天井カセット専用)の据付工事説明書もあわせてご覧ください。

1 ダクト接続フランジの取付け

ダクト接続フランジを付属の取付ねじで本体に取付ける。
※35, 50タイプの場合は、片側のダクト接続フランジがあらかじめ本体に取付けてあり、残りのフランジのみ取付けてください。(取付ねじは4本入りです)

お願い

- ダクト接続フランジを取付ける前に本体内に異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

2 天吊金具の固定

- 1 天吊金具のねじをゆるめる。
- 2 ゆるめたねじを中心に天吊金具を90度回転させ、水平にする。
- 3 ゆるめたねじおよび付属の取付ねじで製品にしっかり締め付け固定する。

※天吊金具は工場出荷時本体にたんだ状態で固定されています。

3 ワッシャー・ナットの取付け

あらかじめ埋め込みである市販の吊りボルト(M10)に左図のように市販のワッシャー(外径21mm以上)・ナットを取付ける。

【防振ゴム(お客様手配)を使用する場合】
防振ゴム(お客様手配)を使用する場合は、強度低下の原因になる可能性がありますので、左記のような施工を推奨します。

4 本体の固定

- 1 天吊金具を吊りボルトに引掛け本体が水平になるよう調節する。(斜め天井への据付けはしないでください)
- 2 ゆるみ防止のためダブルナットで確実に締め付ける。

お願い

- 天井面より本体下面までの距離が65~125mmの範囲になるように、本体を固定してください。
- 吊りボルトは、振れ止め用耐震支持部材にて必ず補強を行ってください。

5 ダクトの接続

- 1 ダクトをダクト接続フランジにしっかり差し込み、風漏れないよう市販のアルミテープを巻き付ける。
- 2 ダクトはロスタイ本体に力が加わらないよう天井から吊る。(ロスタイ本体に力が加わることによって変形し、虫が本体内に侵入する場合があります)
- 3 室外側ダクト2本(外気・排気ダクト)には、結露防止のため必ず断熱材を巻き付ける。

お願い

- ダクト接続をする前にダクトの中に切り粉、異物(紙・ビニールなど)が入っていないことを確認してください。

電気工事

この製品はシステム構成により電気工事の方法が異なります。それぞれ必要な部分の電気工事を行ってください。

警告

- 定格電圧、制御容量範囲内で使用する
指定以外で使用すると、火災や感電の原因
- 端子台接続部は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する。端子台の1か所に2本以上接続する場合は圧着端子などを使用して確実に接続する。端子台の1か所の圧着端子同時接続は2本以下とする
接続に不備があると火災の原因
- 電気工事は、必ず電気工事士の有資格者が規定・基準(*)や据付工事説明書に従って行う。
また、必ず専用回路とし、かつ定格の電圧・ブレーカーを使用する
(*「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」)
電源回路容量不足や取付不備があると感電、火災の原因

お願い

- 1 端子台の配線は、ねじに緩みがないよう指定のトルク以下で確実に行ってください。
- 2 より線を使用する場合、芯線のヒゲ線が他のより線や端子台と接触しないよう注意してください。
- 3 リモコン伝送線用、M-NET 伝送線用の端子台には 100V、200V の電源線は接続しないでください。(制御回路基板が故障します)
- 4 伝送線どうし、および電源線はそれぞれ50mm以上離して配線してください。
- 5 伝送線、電源線はメンテナンスの邪魔にならないように配線してください。
- 6 コンデンサコネクタ・送風機用電動機コネクタの結線は必ずしないでください。

コントロールボックス内の名称

●記号説明 (100V、200V 共通)

記号	名称
SW2	機能切替スイッチ
SW5	機能切替スイッチ
SW7	機能切替スイッチ
SW11	アドレス設定スイッチ (1の位) *1
SW12	アドレス設定スイッチ (10の位) *1
TM5	端子台 (M-NET 伝送線接続 *1; 無極性2線)
TM1	端子台 (AC電源入力)
TM2	端子台 (外部制御入力接続)
TM3	端子台 (普通換気、異常、運転モニター出力用)
TM4	端子台 (リモコン伝送線接続: 無極性2線)
CN2	コネクタ (システム部材接続: PGL-100TGSC)
CN12	コネクタ (システム部材接続: PGL-100TGSC)
CN16	コネクタ (風量、普通換気切替入力)
CN32	コネクタ (遠方入力)

*1は三菱ビル空調管理システム(MELANS)に接続する場合に使用します。

端子台 TM4、TB5の接続方法

禁止 100V、200V 電源を絶対に接続しないでください

正しい接続箇所 間違った接続箇所

●端子台に複数本接続する場合は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。

●PVC線の導線は利用できません。

●端子台のねじは1.2~1.4N・mで締めてください。1.4N・mより大きなトルクで締めると、基板が破損するおそれがあります。

圧着端子接続例

結線図 ※太線および破線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。コネクタ等は、はさまないでください。

■LGH-NCX3

●スリムエアコン感温ムーブアイ連動風量制御には、ロスタイ連動ケーブル(PAC-SBB1VS)が必要です。適用室内ユニットおよび注意事項詳細は最新の換気送風機総合カタログをご確認ください。

●端子台 TB5 (風量、普通換気切替入力)に M-NET 伝送線を接続しないでください。

■LGH-NCX3D

●スリムエアコン感温ムーブアイ連動風量制御には、ロスタイ連動ケーブル(PAC-SBB1VS)が必要です。適用室内ユニットおよび注意事項詳細は最新の換気送風機総合カタログをご確認ください。

●端子台 TB5 (風量、普通換気切替入力)に M-NET 伝送線を接続しないでください。

結線のしかた

- 1 ねじ4本をはすして、コントロールカバーをはさず。
- 1 電源線(単線φ1.6 例VVVF)を皮むきし、電源用速結端子(TM1)に確実に差し込み、コードクリップで固定する。
●200Vタイプのコードプッシュには保護カバーが取付けられています。保護カバーをはさずに電源線をコードプッシュに通してください。

お願い

 - 電線の皮むき寸法は15mmとしてください。皮むき寸法が長すぎると芯線どうしが接触して短絡するおそれがあります。
 - 電源線と伝送線、信号線は、誤動作防止のため50mm以上離して配線してください。
 - 電源線を伝送線端子台に接続しないよう注意してください。
 - 電源線は長さに余裕を持たせてください。メンテナンスができなくなります。

2 単相200Vの場合、アース線(O種)をする
締め付けてあるアースねじをはすして、アース線を取付ける。

- 3 システム構成に合わせて結線を行う。
- 4 結線が終わったら、元通りコントロールカバーを取付ける。

システム構成

……必要なところを接続してください。

- 1 ジーニアスリモコン、ロスタイコンパクトリモコンと接続する場合
- 2 空調機などの外部機器と連動する場合
- 3 ビル管理システム等バリュ出力機器と連動する場合
- 4 ロスタイを複数台運転する場合
- 5 複数の外部機器と連動する場合
- 6 運転信号・異常信号・普通換気(バイパス換気)信号を取り出したい場合
- 7 電動ダンパー・補助送風機等を接続する場合
- 8 外部で強/弱/微弱ノッチ切替をする場合(市販のCO2センサー等と接続する場合)
- 9 外部で普通換気(バイパス換気)にする場合
- 10 遠方/手元切替・発停入力(レベル信号)を使用する場合
- 11 三菱マルチエアコン、または三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続する場合

1 ジーニアスリモコン、ロスタイコンパクトリモコンと接続する場合

ジーニアスリモコンまたはロスタイコンパクトリモコンからの伝送線をリモコン伝送線接続端子(TM4)の①②(無極性)に確実に接続する。

●線径: 2φ3mm²ケーブル
●線径: 0.3mm²

以下の別売ケーブルが使用できます。
PAC-YT81HC(10m)、PAC-YT82HC(20m)

- リモコンは2台まで接続することができます。2台目も同様に接続してください。
- 種類の異なるリモコンを併用することはできません。2台接続する場合は、同じ種類のリモコンをご使用ください。
- リモコン伝送線の総延長は200m(ロスタイリモコン間、ロスタイ-ロスタイ間、リモコン-リモコン間の総合計)以内としてください。

お願い

- 電源線およびM-NET伝送線を接続しないよう注意してください。
- リモコン伝送線の接続方法は「端子台TM4、TB5の接続方法」を参照してください。

2 空調機などの外部機器と連動する場合

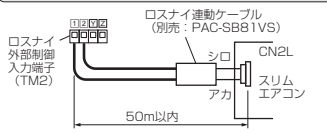
(1) 外部機器の出力信号線を外部制御入力端子(TM2)に接続します。
(2) バリュ入力スイッチ(SW2-2)が「OFF」になっているか確認します。(出荷状態は「OFF」に設定されています)

お願い

- 出力信号のON時間およびOFF時間は10秒以上にしてください。
- 線の長さ時、端子を1.96Nより大きな力で押さえないでください。

外部機器の出力信号のタイプにより接続方法が異なります

三菱スリムエアコンのとき

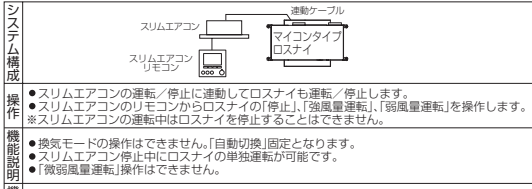


ロスナイ運動ケーブルのコネクタ側を室内ユニット基板上のCN2Lに接続し、リード線をロスナイ外部制御入力端子(TM2)の⑫⑬(無極性)に接続する。

- このシステムではロスナイのリモコンは使用できません。
- ロスナイは三菱ビル空調管理システムに接続することはできません。
- スリムエアコン1台とロスナイ1台の連動が可能です。(複数台のスリムエアコンとの連動はできません)

スリムエアコン人感ムーブアイと運動制御を行う場合

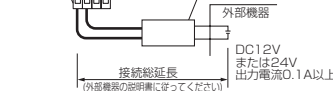
- スリムエアコンの「人感ムーブアイ」により、人の「在室/不在」を検知し、不在時はロスナイが風量を微弱とすることで、省エネ運転します。
- 機能設定方法および制御詳細は、「据付工事説明書 別冊 ④スリムエアコン運動制御設定」、「MAリモコンまたはスリムエアコンの据付工事説明書」をご確認ください。
 - スリムZR 4方向天井カセット形(ファインパワーカセット)、2方向天井カセット形、1方向天井カセット形のムーブアイセンサーパネル接続が必要です。
 - スリムエアコン対象形番は、最新の換気送風機総合カタログを確認してください。



- スリムエアコンの運転/停止に連動してロスナイも運転/停止します。
- スリムエアコンのリモコンがロスナイの「停止」、「強風量運転」、「弱風量運転」を操作します。※スリムエアコンの運転中はロスナイを停止することはできません。
- 換気モードの操作はできません。「自動切換」固定となります。
- スリムエアコン停止中にロスナイの単独運転が可能です。
- 「弱風量運転」操作はできません。

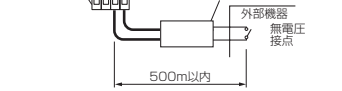
- MAリモコンのスリムエアコン機能設定モードNo.03 ロスナイ接続について、設定番号2[接続有り(室内ユニット外気取入無し)]もしくは、設定番号3[接続有り(室内ユニット外気取入有り)]を設定してください。

外部機器の出力信号が有電圧DC12Vまたは24Vのとき



- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの出力信号を外部制御入力端子(TM2)の⑫⑬(無極性)に接続する。DC12VまたはDC24V入力時運転します。

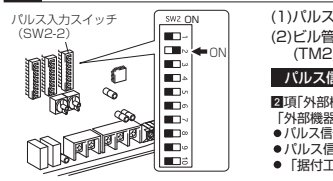
外部機器の出力信号が無電圧接点のとき



- お客様手配の伝送線を介して外部機器からの出力信号を外部制御入力端子(TM2)の⑫⑬(無極性)に接続する。接点ON(閉)時運転します。

- お願い**
- リレー接点を使用する場合、DC15V/1mAを開閉できるリレーを使用してください。
 - 無電圧接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は、ⓐ側をⓑ側をⓒ側をⓓ側に接続してください。

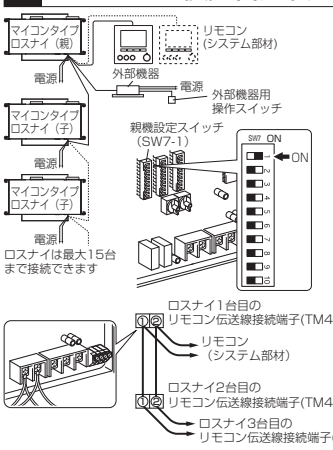
3 ビル管理システム等パルス出力機器と連動する場合



- (1)パルス入力スイッチ(SW2-2)を「ON」にします。
- (2)ビル管理システム等のパルス信号出力を外部制御入力端子(TM2)に接続します。

- パルス信号のタイプにより接続方法が異なります**
- 2項「外部機器の出力信号が有電圧DV12Vまたは24Vのとき」、または「外部機器の出力信号が無電圧接点のとき」を参照してください。
 - パルス信号のON時間は0.2秒以上、OFF時間は10秒以上してください。
 - パルス信号が入力されるごとに、運転/停止が反転します。
 - 「据付工事説明書 別冊 ④パルス入力設定」をあわせてご確認ください。

4 ロスナイを複数台運転する場合



- (1)リモコン伝送線接続端子(TM4)の①②(無極性)をロスナイ1台目から2台目へ、2台目から3台目へ...最大15台までを伝送線で接続する。線径:2芯シース付ケーブル 線径:0.3mm²
- (2)外部機器と連動する場合(2項または3項)、外部信号を入力するロスナイの親機設定スイッチ(SW7-1)を「ON」に切換えます。

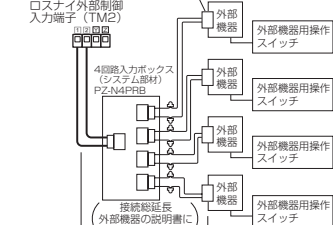
- お願い**
- 電源およびM-NET伝送線を接続しないようにしてください。
 - リモコン伝送線の接続方法は「端子台TM4, TB5の接続方法」を参照してください。

- メモ**
- 親機設定のロスナイは1台のみとしてください。親機設定のロスナイのみ外部機器の出力信号・パルス信号の接続ができます。
 - 外部機器の信号を入力しない場合は、ロスナイ複数台連動であっても親機設定は必要ありません。
 - 各ロスナイはそれぞれに電源を接続してください。

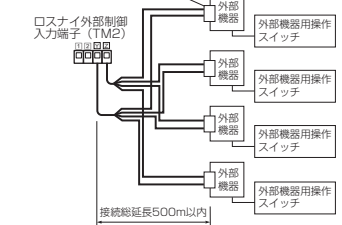
5 複数の外部機器と連動する場合

- お願い**
- 三菱スリムエアコンとロスナイ運動ケーブルで接続する場合、複数台連動はできません。外部機器の出力信号を利用してください。
 - 線の差込時、端子台を19.6Nより大きな力で押さえないでください。
 - 外部機器の出力信号がパルス信号の場合、複数の外部機器と連動することはできません。

外部機器の出力信号が有電圧DC12Vのとき

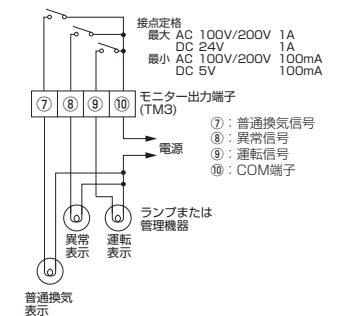


外部機器の出力信号が無電圧接点のとき



- システム部材の4回路入力ボックス(PZ-N4PRB)を使用し、外部制御入力端子(TM2)の⑫⑬(無極性)に接続する。
- 外部機器の出力信号を外部制御入力端子(TM2)の⑫⑬(無極性)に接続する。
- 無電圧接点にフォトカプラ等の有極性接点を使用する場合は、ⓐ側をⓑ側をⓒ側をⓓ側に接続してください。

6 運転信号・異常信号・普通換気(バイパス換気)信号を取り出したい場合



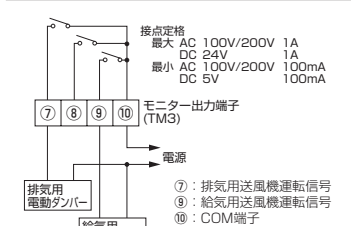
結線図を参照してモニター出力端子(TM3)に接続する。

- お願い**
- 端子台のねじは0.5~0.6N・mで締めてください。0.6N・mより大きなトルクで締めると基板が破損するおそれがあります。
 - 端子台1か所に2本以上接続する場合は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。



- メモ**
- 外部機器と連動する場合(2項または3項)、外部機器の入力信号に対する運転信号出力の応答時間は下表となります。
- | 外部信号形態 | 応答時間 |
|--------|-----------|
| レベル信号 | 最大7sec |
| パルス信号 | 最大200msec |

7 電動ダンパー・補助送風機等を接続する場合



結線図を参照して電動ダンパー、補助送風機等の電源線をモニター出力端子(TM3)に接続する。

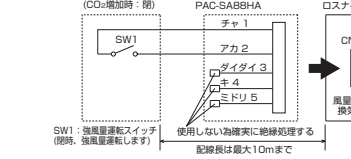
- 給気用送風機の運転に連動させる場合
モニター出力設定スイッチ(運転/給気)(SW5-2)を「ON」にしてください。
- 排気用送風機の運転に連動させる場合
モニター出力設定スイッチ(普通換気/排気)(SW7-8)を「ON」にしてください。
- ロスナイの運転に連動させる場合、スイッチ設定は必要ありません。電動ダンパー等の電源線を⑨⑩に接続してください。
- 「据付工事説明書 別冊 ④モニター出力設定」をあわせてご確認ください。

- お願い**
- 端子台のねじは0.5~0.6N・mで締めてください。0.6N・mより大きなトルクで締めると基板が破損するおそれがあります。
 - 端子台1か所に2本以上接続する場合は、圧着端子などを使用して確実に接続してください。
 - 圧着端子の接続例は④項を参照してください。

8 外部で強/弱/微弱ノッチ切換をする場合(市販のCO2センサー等と接続する場合)

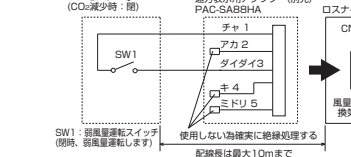
市販のCO2センサー等、別売の遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を用いて、図のように風量・普通換気切換入力コネクタ(CN16)へ接続します。ロスナイを複数台連動する場合は、④項を参照して親機にのみ信号を入力してください。

■外部で強制強風量運転させる場合



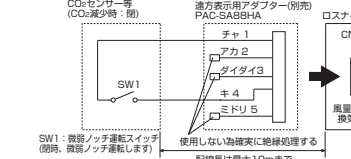
- SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は強(特強)風量となります。常時弱または微弱運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れを検知したときに強(特強)運転になるような使い方をします。
※「据付工事説明書 別冊 ④マルチ換気モード設定」を「パワー給排気(工場出荷時)」以外でご使用の場合、本機で強(特強)風量にすることはできません。

■外部で強制弱風量運転させる場合



- SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は弱となります。常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないときに弱運転となるような使い方をします。

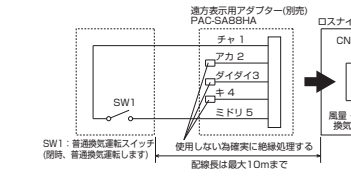
■外部で強制微弱運転させる場合



- SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの風量は微弱となります。常時強運転で換気を行い、外部のセンサーで室内空気の汚れが少ないときに微弱運転となるような使い方をします。

9 外部で普通換気(バイパス換気)にする場合

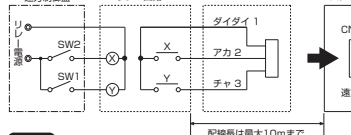
外部機器を、別売の遠方表示用アダプター(PAC-SA88HA)を用いて、図のように風量・普通換気切換入力コネクタ(CN16)へ接続します。ロスナイを複数台連動する場合は、④項を参照して親機にのみ信号を入力してください。



- SW1 ON時はリモコンの設定に関係なくロスナイの換気モードは普通換気となります。
※外気温度が8℃以下のときは熱交換換気となります。

10 遠方/手元切換・発停入力(レベル信号)を使用する場合

ロスナイ制御基板上の遠方入力コネクタ(CN32)へ別売の遠方発停用アダプター(PAC-SE55RA)を差し込む。ロスナイを複数台連動する場合は、④項を参照して親機にのみ信号を入力してください。



- SW1 ON時はジーニアスリモコンまたはロスナイコントロールリモコンでの運転/停止ができません。
SW2 SW1がONの時、SW2のONでロスナイ運転、SW2のOFFでロスナイ停止ができません。
SW1: 遠方/手元切換スイッチ
SW2: 発停スイッチ
X, Y: リレー(接点定格DC15V 0.1A以上、最小適用負荷1mA以下)

- お願い**
- ジーニアスリモコンでナイトバーを使用する場合
緊急停止の用途など、停止中の送風機運転を禁止したい場合、緊急停止設定スイッチ(SW7-5)を「ON」にしてください。停止信号(SW1:ONかつSW2:OFF)の入力時にナイトバーが禁止されます。

